

しいの実

第21号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 音楽発表と児童集会



12月6日(水)の児童集会では集会の前に4,5年生による音楽発表がありました。4,5年生は翌7日に市音楽会に参加します。その日の演奏曲を全校児童に聞かせてくれました。曲は合奏「スイングしなげりや意味ないね」合唱「生きてこそ」の2曲でした。体育館での演奏もいすのサンケイホールでの演奏も大変すばらしく、これまでの練習の成果を十分に発揮してくれました。大きな舞台での演奏の経験は

貴重なものになったと思います。

演奏の後は、保護者の皆様にもご協力いただいた共同募金で集まったお金を社会福祉協議会の方に手渡しました。創徳中学校の職場体験の生徒2名も参加しての贈呈式となりました。集まったお金は鈴鹿市内の社会福祉に使われるとのことでした。



児童集会では、完読賞(お勧めの本を全て読み終えた人)の発表がありました。2年生は全員完読した、とのことです。他の学年も頑張ってくださいね。

盛りだくさんの内容でしたが、子どもたちは態度よく参加できていました。

■ 株式会社の仕組み

6年生は日本証券業協会の方を講師に「株式会社の仕組み」を教えていただきました。

子どもたちは、お菓子の新商品を開発して、会社を経営するというミッションを体験して、そのことを通じて、会社は世の中でどのような役割を果たしているのか、会社が活動をするために必要なものは何か、会社は必要なものをどのようにして手に入れているのかなどを学びました。

商品開発に当たっては、どの班もネーミングやパッケージを工夫しており、こんな商品あったら面白いかも、という商品もありました。

今回の学習を通して、私たちの身の回りにある商品・サービスは会社で働く人たちが一生懸命考え、工夫を積み重ねて生み出されたものであること。また、社会には会社以外にも様々な職業があり、そういった人々のお陰で私たちの生活が成り立っていることを知ることができました。



■ 中学校区人権フォーラムれいほう

れいほうちゅうがっこうかくしょうがっこう ねんせい だいひょう めい ちゅうがくせい めい れいほうちゅうがっこう あつ ひとり
鈴峰中学校区各小学校の6年生の代表4名と中学生8名が鈴峰中学校に集まり、「一人ひとりの違いを認め合い、居心地のよい地域づくりをめざして」というテーマでフォーラムを行いました。

とうじつ かくがっこう きょうつう かだい はな あ にん にんげんかんけい なか
当日までに各学校では共通した課題について話し合ってきました。「3人の人間関係の中で一人からもう一人の悪口を聞かされたときどう対応するか」という設定です。その話し合いを踏まえて、自分の意見として他の学校の仲間との話し合いました。

4つのグループに分かれるので、同じ学校の仲間はいなくて、初めて出会った他の学校の小学生や中学生と一緒に話し合います。初めはとても緊張した面持ちでしたが、1時間が経つころにはどの班も活発な意見交換ができていました。

こどもたちからは、じっさいに自分が似たような経験をしたことや理想はこうだけど実際にはこっちなあ、など自分の考えを真剣に出し合っていました。中学生からも「今の話を聞いて自分の考えを変えました。」と中学生と小学生という立場にこだわらず、一つの意見を真剣に受け止めている姿も見られました。こうすれば絶対にうまくいく、こうすることが正解というのは見つかりませんが、お互いに話し合っていくことが大切ではないかという共通した考えは見つけられたのでないかと思いました。

さんか ちいき かた おとな おな いま
参加いただいた地域の方からは、「大人になっても同じようなことはある」「今はSNSとかでしたことは、どんどん拡散されるので慎重にならないといけない」といったご意見をいただきました。

また、「いじめは相手がいじめだと感じたらいじめ。いじりやからかいでは決してすまない」という助言もいただきました。

最後に鈴峰中学校校区人権宣言

- 一、相手の目を見て、元氣よくあいさつをしよう。
- 一、相手の気持ちを考えて、思いやりのある行動をしよう。
- 一、お互いの良いところを見つけ、認め合おう。
- 一、一人ひとりの違いを個性として受け止めて、互いに尊重し合おう。
- 一、いじめがない、いじめをおこさない、
みんなが笑顔で安心して生活できる学校づくりをしよう。

をして閉会となりました。

